

授業科目名	【G】 教育方法・ICT活用論	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
科目区分	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独	教員の免許状取得のための必修科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育の方法及び技術、情報通信技術を活用した教育の理論及び方法							
サブタイトル	教育の方法・指導技術の習得と情報通信技術活用への理解			担当者	小松 伸之			
授業概要	【概要】	<p>【実務(中学・高等学校教諭)経験を活かした授業】 中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p>【概要】 第1～7回では、「学習内容をいかに編成し、学習者と学習対象をいかに結びつけるか」という教育の根幹をなす課題に対し、いかなる教育方法が編み出されてきたのか歴史の変遷を追うとともに、授業論や評価における教育方法の位置づけを学ぶことで、今日の学校教育のあり方について理解を深めていく。後半8～15回では、「学校現場で情報通信技術をいかに活用していくか」という課題に対し、理論や社会的背景を踏まえながら、学校現場で取り扱う情報通信技術の環境や機器(デジタル教科書、電子黒板を含む)についての概要と基本的な活用方法を取り上げ、より効果的な活用を目指して教員として求められるICT活用能力の基礎的素養を育む。</p>						
	【到達目標】	<p>○教育方法の歴史の変遷や現代的な意義と課題について理解することができる。</p> <p>○学校現場で必要とされるICT活用能力や指導法の基礎的素養を身につけ、ICTを活用したプレゼンテーション活動を行うことができる。</p>						
履修条件	「教育原理」及び「教職論」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	社会科・公民科指導法Ⅰ～Ⅳ、地理歴史科指導法Ⅰ・Ⅱ、情報科教育法Ⅰ・Ⅱ							
教科書	武田明典・村瀬公胤編著『教師と学生が知っておくべき教育方法論・ICT活用』北樹出版							
参考書	田中耕治ほか『新しい時代の教育方法(改訂版)』有斐閣 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編』、『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編』、『同 公民編』、『同 情報編』							
評価方法	試験(30%)、プレゼンテーション及び振り返りレポート(30%)、課題(10%)、毎時のワークシート(30%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。							
フィードバック方法	課題やレポートへのコメント、プレゼンテーションへのコメント							
評価基準	授業内容についてよく理解して優れた発表を行うことができた者には「S」または「A」を与える。内容理解や発表内容・方法に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。また、6回以上欠席するなど判定不能な者は「F」とする。							

授業科目名	【G】 教育方法・ICT活用論	区分		【G】2	単位数	【G】2
			開講年次			
授業回数	授業内容					
1	なぜ教育の方法・技術を考えるのか					
	予習： 教育経験の振り返り		復習： 授業内容についての復習			
2	教育方法の歴史の変遷					
	予習： 教育原理の学びの振り返り		復習： 教育方法史についての復習			
3	教授・学習論					
	予習： テキストの読解		復習： 授業内容についての復習			
4	「主体的・対話的で深い学び」「学びの個別最適化」とは					
	予習： テキストの読解		復習： 授業内容についての復習			
5	授業論①(授業の構成)					
	予習： テキストの読解		復習： 授業論についての復習			
6	授業論②(指導過程と学習評価)					
	予習： 授業の組み立て方の確認		復習： 授業論についての復習			
7	学習指導案における教育の方法・技術					
	予習： 学習指導案の作成方法の確認		復習： 授業内容についての復習			
8	情報通信技術活用の意義と在り方					
	予習： 身近な情報通信技術の活用について調べる		復習： 授業内容についての復習			
9	学校現場におけるICTの利活用(多様な生徒への対応、外部との連携、校務システム)					
	予習： 教職インターンシップ実習校におけるICT利活用を調べる		復習： 授業内容についての復習			
10	ICTを活用した教育の方法と課題(オンライン授業、教育データの活用、情報モラル)					
	予習： 教育経験の振り返り		復習： 授業内容についての復習			
11	教員に求められるICT活用能力と指導法①(歴史と理論)					
	予習： テキストの読解		復習： 授業内容についての復習			
12	教員に求められるICT活用能力と指導法②(デジタル教科書、電子黒板等の活用)					
	予習： テキストの読解		復習： 授業内容についての復習			
13	教員に求められるICT活用能力と指導法③(学習指導案から読み取る事例分析)					
	予習： テキストの読解		復習： 授業内容についての復習			
14	ICTを活用した学習指導案の作成とプレゼンテーション①					
	予習： 学習指導案及びプレゼンテーション資料の作成		復習： 学習指導案及びプレゼンテーション資料の修正			
15	ICTを活用した学習指導案の作成とプレゼンテーション②、総括					
	予習： 学習指導案及びプレゼンテーション資料の作成		復習： 学習指導案及びプレゼンテーション資料の修正			
その他	授業ごとの予習・復習時間は各120分程度を目安とする。					